

知的障害学級、自閉症・情緒学級合同「道徳」学習指導案

日 時 平成〇〇年〇月〇日 (〇)

場 所 教室

授業者 MT 教諭 〇〇〇〇

ST 1 教諭 〇〇〇〇

ST 2 教諭 〇〇〇〇

ST 3 教諭 〇〇〇〇

1 主題名 命って？ 3－(1) 生命の尊重

2 資料名 「みぼりんのえくぼ」

3 主題設定の理由

(1) 学級及び生徒の実態

本校特別支援学級は、知的障害学級2、自閉症・情緒障害学級1の合計3学級で、14名の生徒が在籍している。学級活動と自立活動は学級別、国語・数学は習熟度別の4つに編成し、その他の教科については、生徒の実態に応じたグループ編成で授業を行っている。

道徳については、その内容等によって学級別や3クラス合同の形態をとり、個々の生徒が学習に対して、より理解が深まる方法を工夫している。授業内容は、挨拶、友達や物を大切にする内容を中心に実施してきた。今では少しずつであるが、お互いの気持ちを理解しようとする言動や態度が見られるようになってきた。

通常学級との交流及び共同学習として、毎週1回以上の給食と各行事への参加を、それぞれの交流学級で行っている。個々の生徒の実態は以下のとおりである。

【知的障害学級①】

生徒	学年・性別	生徒の実態
D	1年・女	人が大好きで、誰にでも話しかけようとする。授業の取り組みは、周りが気にかかり集中できないことが多い。状況判断をすることが苦手である。教師の支援のもと体育祭前には、交流学級の体育の授業に参加。読み書き計算は、小学校低学年程度。
E	1年・女	夏休み以降明るさが増し、積極性が出てきた。うまく行かないことが多いが、自分の力でやってみたいという気持ちはある。体育祭の体育の授業、合唱祭前の音楽の授業は交流学級に参加。小学校では通常学級に在籍していた。読み書き計算は、小学校低学年程度。
H	2年・男	陸上部に所属。交流学級の授業（体育・美術）に全て参加。正義感が強く、よく気が利く。周囲の人の意見を聞かずに主張しすぎてしまう面もあるが、自分の意見をはっきりと伝えることができる。小学校では通常学級に在籍していた。読み書き計算は、小学校中学年程度。
I	2年・男	気が優しく繊細。人への関わりは消極的である。昨年度は行く事ができなかった交流学級への給食に、今年度は週1回参加することができるようになった。体育祭前の体育の授業・合唱祭前の音楽の授業は交流学級に参加。小学校では通常学級に在籍していた。読み書き計算は、小学校中学年程度。
L	2年・女	ものの言い方がきつく、トラブルになってしまうことも多いが、人の世話をすることが好きで、クラスの友達の手伝いをよく見る。体育祭前の体育の授業・合唱祭前の音楽の授業は交流学級に参加。読み書き計算は、小学校中学年程度。
M	2年・女	場面緘黙。学校生活の中ではほとんど会話は無いが、家では家族との会話だけでなく、電話の応対もできる。大集団の中では特に緊張してしまう。どんなことにも真面目で、頑張りすぎるほど一生懸命に取り組む。うなずく、首を振るなどでコミュニケーションをとることができる。交流学級の給食、体育祭前の体育の授業、合唱祭前の音楽の授業は交流学級に参加。小学校では通常学級の学級に在籍していた。読み書き計算は小学校高学年程度。

【知的障害学級②】

生徒	学年・性別	生徒の実態
A	1年・男	明朗快活。学習意欲が旺盛で授業中の発表は積極的である。クラスの友達とのコミュニケーションはよくとれている。多動傾向であり、体を動かしていると、気持ちが落ち着く。体育祭前の体育の授業、合唱祭前の音楽の授業は交流学級に参加。読み書き計算は、小学校低学年程度。
B	1年・男	気が優しく細かい面によく気がつく。行動を面倒くさがる発言が多いが、責任を持ち最後までやりぬくことができる。週1回の交流学級の給食に参加することに積極的でなかったが、体育祭前、合唱祭前の交流学級に参加できたことで自信をつけ、給食にも笑顔で参加できるようになった。読み書き計算は、小学校中学年程度。
F	2年・男	いつも笑顔でいる。学習意欲が旺盛で授業中の発表も多い。人の意見に耳を傾けることは苦手であるが、自分の意見を言うことができる。手先を使うような細かな作業は不得意である。体育祭前の体育の授業、合唱祭前の音楽の授業は交流学級の授業に参加。読み書きは小学校中学年程度。計算は高学年程度。
G	2年・男	文字を丁寧に書くこと、絵や工作を緻密に仕上げるができる。人の気持ちを理解することが苦手である。会話は一方的になりやすいが、彼なりに冗談を言ってみるなどして会話を楽しもうとする気持ちが芽生え始めている。体育祭前の体育の授業、合唱祭前の音楽の授業は交流学級に参加。読み書きは、小学校中学年程度、計算は小学校高学年程度。
J	2年・女	挨拶がしっかりできる。発問の意味を理解できていないことも多いが、学習意欲が旺盛で授業中の発表は積極的である。言葉でのやり取りは難しく、聞かれたことをそのまま繰り返すことが多い。体育祭前の体育の授業、合唱祭前の音楽の授業は交流学級の授業に参加。読み書き計算のレベルは小学校中学年程度。
K	2年・女	漢字の部位が左右逆になったり、単純な計算ミスしたりが目立つ。陸上部に所属し、駅伝大会出場。交流学級の授業（体育・美術・社会・音楽）に毎時間参加している。学習意欲が旺盛で何事にも積極的である。硬筆展では上位の成績を修めた。

【自閉症・情緒障害学級】

生徒	学年・性別	生徒の実態
C	1年・男	陸上部に所属。明朗活発。授業中は集中するまでに時間がかかり、落ち着かない。また、すぐに人に話しかけてしまう。気持ちが乗ってくると集中することができる。体育祭前の体育の授業、合唱祭前の音楽の授業は交流学級に参加。体育祭では交流学級の中で活躍した。小学校では通常の学級に在籍していた。
N	3年・男	ADHD（注意欠陥多動性障害）。明朗快活で、自分の意見がはっきり言える。話したいことが整理できず、話し出すと止まらなくなる。また興奮しやすく、落ち着くまでに時間がかかる。飛行機の音に敏感である。体育祭前の体育の授業、合唱祭前の音楽の交流学級の授業に加え、美術の授業にも毎時間参加している。ニュースや、社会情勢に興味を持って調べて発表することができる。小学校は通常学級に在籍していた。読み書き計算は小学校中学年程度。

(2) 主題について

命について、3回のシリーズで題材を設定した。動物愛護から始まり、人として命の尊さを考える内容である。今までは劇や、ロールプレイをしながら授業を進めてきた。本学級の生徒の障害は様々である。意味を深く考えず、「死ね！」という言葉が平気で飛び交ったりする。テレビゲームをする生徒も多く、その中では、何度でも命がよみがえる場面を多く見ている。そのため、命には有限性があることをしっかり理解させたい。

(3) 資料について

今回は、「みぼりんのえくぼ」を資料とした。本資料は、脳腫瘍のため、幼くして命を亡くした

女の子が、家族への思いや周囲への思いを絵手紙に寄せ、明るく最後まで生きていく内容である。8月にテレビ放映された映像を視聴した。本学級の生徒にとっては難しい内容ではあるが、この資料からいくつかの場面を取り上げ、主人公の心の変化を感じ取らせたい。また自分の誕生にあたり、両親がどんな思いでいたかを知ること、命の大切さを知り、他者への思いやりの心を育みたいと思い、この主題を設定した。

(4) 指導・支援について

本学級の生徒の実態として、読み物資料では、場面や登場人物が理解しにくい、教師による劇、ロールプレイ、絵や写真、顔の表情などを効果的に活用してきた。本授業では取り上げる場面に応じた絵と表情カードを使用する。また発表することの苦手な生徒のために、自分の気持ちを短冊に書き表し掲示する方法で、苦手さを改善するための手立てをとる。短冊に書くことが難しい場合には、表情カードを選び、掲示する。言葉を理解することが苦手な生徒や表現が苦手な生徒には、STが個々の生徒に応じた補助的な問いかけなどの工夫をし、支援していく。

4 ねらい

- (1) 命の大切さに気づき、命を大切にしようとする心情や態度を育てる。
- (2) 子を思う親の気持ちに気づき、他者への思いやりの心を育む。

5 指導計画

過程	学習内容	ねらい	時間
1	ライオンと子犬	自分だけではなく、他者の命も大切にする態度を養う。	1
2	太郎君のハムスター	動物の命の大切さ、かけがえの無い命があることに気づく。	1
3	命って？	命の大切さに気づく	1
4	命って？ ①ビデオ視聴	内容を感じ取る。	1
5	命って？	命を大切にしようという心情を養う	1（本時）

6 本時の学習

(1) 共通目標

- ① 病気でありながら、笑顔で生きる主人公の気持ちを理解する。
- ② 人(自分)は周囲の人に見守られていることを知る。
- ③ 命の大切さに気づき、自分や他人の命を大切にしようとする心情を養う。

(2) 生徒の実態及び目標

No.	学年	生徒	本題材に関する実態	個人目標
1	1女	D	動物をかわいがりたい気持ちは十分にあるが、動物の扱い方の理解が不十分である。具合が悪い人に優しい言葉をかけるなど、人を思いやる気持ちがある。場面理解が難しく、教師の支援が必要である。	①生きていることを実感することができる。 ②病気であるみぼりんを心配することができる。
2	1女	E	家でインコと十姉妹を飼っている。かわいいと思う気持ちはあり、時間のあるときには、手に乗せ遊んだりするが、世話は母親がしている。言葉の理解が難しいため、教師の支援が必要である。	①生きていることを実感することができる。 ②病気であるみぼりんを心配することができる。
3	2男	H	道徳的な判断をし、発言できる。祖母・両親・姉の5人家族である。日頃から家族を思いやる	①病気と闘いながら生きていこうとするみぼりんの気持ちを理解する

			やさしい気持ちを持っている。	ることができる。 ②みぼりんに対する母の思いを理解することができる。
4	2男	I	ゲームやビデオ、テレビを観ることが好きである。下校後や休日は家にいることが多い。生き物への関心は薄い。言葉の理解が難しいため、教師の支援が必要である。	病気と闘いながら、生きていこうとする気持ちを理解することができる。
5	2女	L	深く考えず、表面のことだけで判断することが多い。生き物が好きで、好んで世話をする。命の大切さを理解している。	命の大切さ、親が思う子の気持ちの深さを理解することができる。
6	2女	M	家庭菜園の水やりを欠かさず行う。家でハムスターを飼っている。妹思いの優しい姉である。人前で話すことが苦手なため、教師の支援が必要。	みぼりんに対する母の思いを理解することができる。
7	1男	A	3人兄弟の末っ子で周りから大事にされているため、他者を頼っている場面が多く見られる。母が具合の悪いときなどは、優しい言葉をかけることができる。	みぼりんに対する母の思いを理解することができる。
8	1男	B	ハムスターを飼っていて、動物の気持ちを考えて責任もって世話をすることができる。また動物の扱いが上手である。言葉はきついが、やさしい気持ちを持っている。	命の大切さ、親が思うこの気持ちの深さを理解することができる。
9	2男	F	今まで欠席もなく、元気な生徒である。ペット等の飼育経験がなく、動物の扱いは苦手である。家族に対する思いは強く、両親が大好きである。	①病気と闘いながら生きていこうとするみぼりんの気持ちを理解することができる。 ②みぼりんに対する母の思いを理解することができる。
10	2男	G	動物に関心があるが、世話は得意ではない。特に排泄物の清掃は苦手である。言葉の理解が難しいが、教師の支援によって考えることができる。	みぼりんが、病気に負けないで生きようとする気持ちを理解することができる。
11	2女	J	母親が怪我をしたときは、心配していた。姉がいるが関わりは薄い。言葉の理解が難しいが、教師の支援によって考えることができる。	みぼりんが、病気に負けないで生きようとする気持ちを理解することができる。
12	2女	K	動物には関心があるが、動物アレルギーのため触らないように気をつけている。道徳的な考えをすることが出来る。他者の気持ちを察することができる。	①病気と闘いながら生きていこうとする気持ちを理解することができる。 ②みぼりんに対する母の思いを理解することができる。
13	1男	C	戦闘的なゲームや本が好きである。とても優しい気持ちを持っている。命に関しては、ペットを飼っているが、世話をを行うことが不十分であり、人任せにしてしまう。	①病気と闘いながら生きていこうとする気持ちを理解することができる。 ②みぼりんに対する母の思いを理解することができる。
14	3男	N	戦闘的なゲームや本が好きである。家族を気遣うことや、具合の悪い人に優しい言葉をかけることができる。動物などの生き物には関心が薄	①病気と闘いながら生きていこうとする気持ちを理解することができる。

			く扱いは苦手である。	②みぼりんに対する母の思いを理解することができる。
--	--	--	------------	---------------------------

(3) 学習指導過程

段階	学習活動	○生徒の活動 ◎予想される生徒の反応 □指導者の主な指示・発言等 △支援の手立て					資料等
		I C・F・H・K・N	II A・M	III B・I・L	IV G・J	V D・E	
導入	挨拶をする。	○号令係の声で、姿勢を正し、始まりの意識をもって挨拶をする。					生きている鳥と鳥の置物
	「生きている」とはどういうことかを考える。	□皆も先生も生きているよね。「生きている」ってどんなことでわかるの？					
		◎心臓が動いている。 ◎脈がある。 ◎息をしている。	◎ゲームが出来る。 ◎遊べる。	◎遊べる ◎食べる	◎動く ◎食べる	◎動く	
		△「生きている」ということの意味が難しい生徒には、STが生き物と作り物を見せ、「生きている」とはどういうことかを理解させる。					
展開	本時の学習内容について知る。	□前回観た「みぼりんのえくぼ」を思い出しながら、今日は「命」について、みんなで考えて行きたいと思います。					資料名の掲示
	泣きながら母に訴えるみぼりんの気持ちを考える。	□MTが「みぼりんのえくぼ」のあらすじを話し、生徒に内容を思い出させる。					
		□話の中の一場面（ベッドの上で泣きながら母親に訴えている様子）の絵を掲示する。					
		発問1	□みぼりんは「死んじゃえばよかった。」と泣きながらお母さんに言っていました、みぼりんはどんな気持ちで言ったのだと思いますか。				
◎薬を飲んででも治らない。苦しいからもういや。 ◎生きていても仕方ないと感じた。 ◎つらくていや！	◎病気はいや。	◎痛い ◎怖い ◎苦しい	◎痛い ◎怖い ◎苦しい	△ST1～3が補助的な問いかけ等を行い、みぼりんの気持ちを考える支援をし、本人の考えを聞き取る。			
発問2	□「私なんか死んじゃえばよかった。」と泣いていたみぼりんが笑顔になったのは、なぜだと思いますか。						

展 開	笑顔になった みぼりんの気 持ちを考える。 やさしい言葉 をかけた家族 の気持ちを考 え、短冊に記入 する。	◎家族の支えがあったから。 ・家族や周囲の励ましがあったから。 ◎おねえさんのやさしい言葉があったから ◎家族が いるから ◎お母さん がいたから。 ◎悲しく なくなっ た。頑張 ろうと思 った。 ◎大好き なお母さ んがいた から。 △S T 1～3が補助的な問いかけ等を行い、みぼりんの気持ちを考える支援をし、本人の考えを聞き取る。 発問3 □家族は、みぼりにどんな気持ちでやさしい言葉をかけたのですか。 △S Tが支援し、発問が理解できているか確認し、短冊に書けるように配慮する ○考えを短冊に記入する。 ◎生きていてほしい。 ◎病気が治ってほしい。 ◎病気に負けないでがんばってほしい。 ◎みぼりんは大事な家族の一人だから。 ◎病気が 治ってほ しい ◎かわい そう ◎かわい そう □考えを書くことが難しい場合は、表情カードを使用して、考えを聞き取る。 □短冊を黒板に貼り、一人一人の考えを共感的に評価する。 △短冊に書けない場合には、表情カードを使用して考えを聞き取る。 ○友だちの感想や、短冊の内容を再度確認し、家族の愛情の深さや、周囲の人の思い、命の大切さを知る。	場面の絵 ②(笑顔で家 族と楽しん でいる絵) 吹き出し 家族の絵 カード 吹き出し 表情カー ド 短冊用紙 マジック 短冊また は表情カ ードを黒 板に掲示
終 末	親からの手紙 を聞く。 挨拶をする。	□MTが、ある親から子どもに宛てた手紙を読む。 ○子どもに対する親の愛情の深さを感じ取る。 ○号令係の声で、姿勢を正し、終わりの挨拶をする。	親からの 手紙

7 評価

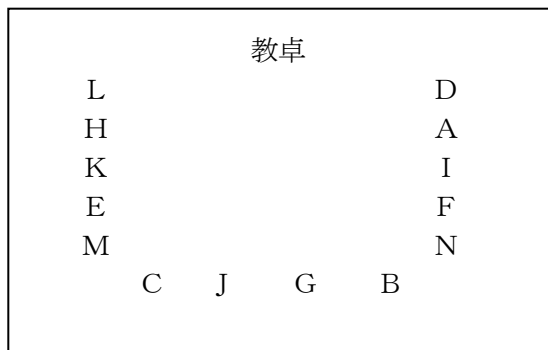
(1) 共通目標が達成できたか。

- ① 病気でありながら、笑顔で生きる主人公の気持ちを理解することができたか。
- ② 人（自分）は周囲の人に見守られていることを知ることができたか。
- ③ 命の大切さに気づき、自分や他人の命を大切にしようとする心情に持つことができたか。

(2) 個人目標が達成できたか。

8 教室内環境図

生徒座席表



9 板書計画

